

令和7年度 学校だより

令和7年9月30日



にしはら

10月号

渋谷区立西原小学校

頑張り過ぎず、楽しんで。

副校長 中町 千恵子

早いもので、前期も終わりに近付いてきました。振り返れば、4月には、進級したばかりの子供たちが新たな気持ちで臨んだ始業式と、ピカピカの1年生の入学式が行われました。5月には、全校児童で団結した運動会が開催されました。そして、夏休み明けには一回り成長した子供たちの姿が見られ



ました。そして、夏休みの自由研究が教室や廊下に展示され、その見事な作品に驚き感心させられました。子供たちが、夏休みに試行錯誤を繰り返しながら、懸命に探究した姿が目に浮かび、その価値の重さに頭が下がりました。保護者の皆様にもご支援いただきありがとうございました。



さて、9月に世界陸上東京2025が国立競技場で開催されました。日本代表や世界各国のアスリートが、血の滲むような厳しい練習を経てこの場に臨んでいるかと思うと、その姿に毎日感動し、勇気をもらった9日間でした。本校では、9月25日に6年生の「陸上教室」を開催しました。講師には、佐久間滉大さん(走幅跳び・世界Jr.5位)、中澤優さん(走高跳び20歳以下日本記録)、小幡佳代子さん(世界陸上セビリア大会マラソン日本代表8位)の3名のアスリートをお迎えしました。6年生が汗をかきながら生き生きと走ったり、跳んだりする姿を見ていて胸が熱くなりました。また、アスリートの方の技術面でのご指導を一生懸命聞いて実践しようとする姿が印象的でした。この陸上教室は、6年生にとって有意義で貴重な体験になったことだと思います。最後に小幡さんから6年生に「準備をしっかりしておくこと、本番は普段通り。頑張り過ぎないで。」とのお言葉がありました。また、終了後には佐久間さんから「現役の時はしんどかった。でも楽しんで競技をするようになってから記録も伸びた。楽しむことが大切。」とのお話を聞きしました。10月に開催される「陸上記録会」では、西原小の6年生が、普段通りに楽しんで最高のパフォーマンスを実現できるよう、応援していきます。



まもなく、たくさんの思い出のある前期が終わります。終業式では通知表を渡します。私事で恐縮ですが、小学校時代の私の通知表の所見にはいつも「消極的です。」の一言がありました。当時私は、人前に立って話をするどころか担任の先生と話した記憶もほぼありません。そんな私でしたが、もちろん得意とは言えないまでも人前で話ができるようになりました。西原小の子供たちも未来の自分を思い描きながら、頑張り過ぎず、楽しんで進んで行ってほしいと心から願っています。



10月の目標

【生活目標】

協力して仕事を最後までやろう。

【保健目標】

けがをしないように気を付けよう
目を大切にしよう

【給食・食生活】

後片付けをきちんとしよう
季節の食べ物を知ろう

秋の全国交通安全週間 9/21~9/30

今年度も秋の全国交通安全週間が実施されました。これを機会に、児童も、そして私たち大人自身も改めて交通安全の意識を高めていきましょう。**ポイント**



○自転車に乗る際はヘルメットを着用すること。

○坂道（下り坂）を危険な速度で降りないこと。

○ライト、反射板、白っぽい服装などで目立たせること。

西原地区の皆様に、児童の登下校の安全を見守っていました。ありがとうございました。